

M-ストロイ閉鎖株式会社の報告書・ムルマンスク、2002年

VAZ-21083型エンジン： 圧縮圧力の上昇、 より静かで滑らかな運転

M-ストロイ閉鎖株式会社（機械類の所有者） ・ 報告書は技術部門責任者V.M.ワシリエフ承認、機械設備保全責任者P.V.バルフチン署名、処理実施者側はアルクティク・アフト有限責任会社（XADO代表事務所）
ロシア・ムルマンスク・2002年9月3日付報告書・3,810 km走行後の確認測定

製品

XADOゲル状リバイタリザント（摩擦面再生剤）
チューブ3本・ガソリンエンジン
用処理手順による処理

処理対象

VAZ-21093、21083型エンジン
ガソリンエンジン、4気筒・車両
登録番号s 048 vm・走行距離
134,842 km

文書の種類

2002年9月3日付報告書
署名・捺印あり

機械類

試験開始時の走行距離

測定項目

VAZ-21093、21083型ガソリンエンジン（4気筒）

運用開始から**134,842 km**

全4気筒の気筒別圧縮圧力

処理はエンジンを分解せずに、通常運用中の車両に対して実施した。確認測定は、その後**3,810 km**走行した時点で行った。

主要結果

↑ **2-2.5**

全4気筒の圧縮圧力、9.5～10 → 11.5～12.5

気筒別圧縮圧力（処理前後）

気筒	処理前（134,842 km）	処理後（138,652 km）	変化量
第1気筒	10	12	+2
第2気筒	9.5	11.5	+2
第3気筒	10	12.5	+2.5
第4気筒	10	12	+2

報告書に圧縮圧力の単位は記載されていない。数値は原本の記載どおりに示す。

報告書の記録事項

M-ストロイ閉鎖株式会社の2002年9月3日付報告書は、運用結果として「振動およびエンジンの騒音レベルが低下し、加速性能が向上した」と記録している。圧縮圧力は全4気筒で**9.5～10 → 11.5～12.5**に上昇し、処理前に最も低かった第2気筒も他の気筒とともに上昇した。エンジンの走行距離は**134,842 km**であったが、分解も修理も行っていない。処理は、通常運用中の車両にゲル状リバイタリザントのチューブ3本を用いて実施した。確認測定はその後**3,810 km**走行した時点で行っており、効果は負荷のかかる運用下で持続し、注入後最初の数百 kmで消失するものではない。

XADO

© XADO。すべての権利を留保する。
本結果は、通常運用中のVAZ-21093に搭載された21083型ガソリンエンジンに関するものであり、他のエンジンや運転条件では測定値が異なる場合がある。署名・捺印のある2002年9月3日付報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。